

2025 年 11 月 吉日

ASCoT 茶論（常設公開講座）への出席ご案内

NPO法人コンクリート技術支援機構（ASCoT）では、さらなる人材育成と技術の革新を推し進めるため、多くの方々と双方向での技術交流ができる場として「ASCoT茶論」を開設しております。

さて、今回の茶論は、鹿島建設（株）の鈴木清孝氏による CFT（コンクリート充填鋼管柱）の充填コンクリートの品質管理をご紹介します。

我が国が世界に先駆けて展開を進めてきた CFT 構造は、その構造上・施工上の利点だけでなく、圧入コンクリート工事の施工が技術的に難しいといった欠点があります。

そこで、論者の鈴木氏が所属している鹿島建設（株）で実施されている、圧入施工に必要なコンクリート品質を安定確保するための充填コンクリートの品質管理についてご講演いただきますので、ぜひご参加ください。

特定非営利活動法人・コンクリート技術支援機構（ASCoT）

理事長 畑中 重光（三重大学 名誉教授）

担当理事 朴 相俊（金城学院大学 教授）

第 59 回 開催要項

論者： 鹿島建設（株）中部支店 建築工事管理グループ 鈴木 清孝 氏

演題： 「世界に先駆ける日本の CFT 構造であるからこそ、重大品質事故防止のために」

概要：

CFT（コンクリート充填鋼管柱）構造は、我が国が世界に先駆けて展開を進めてきた構造形式であり、RC（鉄筋コンクリート）、S（鉄骨）、SRC（鉄骨鉄筋コンクリート）に次ぐ第 4 の建築構造形式として、現在、国内の中・高層建築物で急速に普及しつつある。

このように CFT 構造が注目されている理由の一つは、その 2 つの構成要素である「冷間成形角形鋼管」と「高流動充填コンクリート」が、どちらも我が国で独自に発展してきている技術だからとも言える。

しかしながら、CFT 構造には、その構造上・施工上の利点だけでなく、「圧入コンクリート工事の施工が技術的に難しい」という欠点もある。

これに対し、当社では、新都市ハウジング協会等による公的な施工指針だけでなく、圧入施工に必要なコンクリート品質を安定確保するため、充填コンクリートの品質管理に関して非常に厳しい制約を生コン工場に課してきている。

今回の茶論では、そのような当社による充填コンクリートの品質管理の実態とその要否・適否について、関係各位からのご意見を率直に伺いたいと思います。

日 時： 2025 年 12 月 4 日（木）15:00～16:00（話題提供～意見交換）

開催方法： Zoom による Web 開催

参加費： 無料

定 員： 25 名

第59回 ASCoT茶論 参加申込書

2025年 月 日

ご氏名		
ご所属		
連絡先	電話	
	F A X	
	メールアドレス	
ASCoT 会員の有無	会員	会員外

1. お申込み先

ASCoT 事務所 担当：藤岡
〒464-0003 名古屋市千種区新西 2-3-6
TEL：052-979-2107

2. お申込み方法

以下のEメールまたはFAXでお願いいたします。
メール：t.fujioka@renotec.co.jp
FAX：052-937-6553

3. お申込み期限

12月 1日（月）

4. お申込み後のご案内について

お申込者には、開催日までに、招待メール（Zoom ミーティングのURL、ミーティングID及びパスコード）を、申込書に記載のメールアドレス宛に送らせていただきます。
また、参加に際しまして、録画は禁止とさせていただきますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

※ 個人情報保護法の施行により、参加申込書で得た個人情報は、茶論運営のために必要な連絡や名簿等の作成以外に使用することはありません。

以上